

2024 年度活動概要

学習者要因研究会

1. 研究テーマ

「JACET 学習者要因研究会」では、第二言語・外国語学習における様々な「学習者要因」や「個人差」(individual differences)に焦点を当て、研究活動を行っている。特に、学習者の認知・学習スタイル、言語学習ストラテジー、モチベーション、ビリーフなどについて、調査・研究を行い、学習者をより多面的に理解し、より効果的な授業及び指導法を提案することを目指している。

2. 活動内容

今年度は研究会を2回開催し、様々な学習者要因、学習者を取り巻く環境、研究メソッドなどについて、活発な意見交換を行った。発表者と研究発表のタイトルは以下の通りである。

1) 2024年7月20日 14:00—16:00

"Using duoethnography for research, reflection and classroom teaching" by Luke Lawrence (Nihon University)

"A Comparative Analysis of JFL Learners' Motivation in Japan and the United States" by Naoko Ohno (North West College)

2) 2月24日 14:00—16:00

1) 「アイスランドの日本語学習とSDGsな社会見聞録」

"Exploring Japanese Learning and State of SDGs in Iceland" by Tomoko Sugihashi (Showa Women's College)

2) "Understanding perezhivanie as a prism of learner development through advising in L2 learning" by Ryo Moriya (Shizuoka University)

3. LD SIG Web ジャーナル

今年度のジャーナルの刊行は延期し、来年度に合併号として刊行する。